

憲法 60 年の軌跡を映像で検証！

—平和ドキュメンタリー映画上映会のご案内—

第 1 回 2007 年 7 月 15 日(日)15:00~17:00

「無限の瞳」(1955 年、成城学園生徒映画製作部、20 分)

「ヒロシマ・ナガサキ 1945・8」(1970 年、18 分)

「にんげんをかえせ」(1982 年、橘祐典監督、20 分)

第 2 回 2007 年 8 月 29 日(水)19:00~21:00

「1960 年 6 月 安保への怒り」(1960 年、野田真吉・富沢幸男、44 分)

「裁かれる自衛隊」(1967 年、片桐直樹監督、28 分)

第 3 回 2007 年 9 月 22 日(土)15:00~17:00

「原爆の凶」(1954 年、岩崎昶、16 分)

「基地はいらない どこにも」(2006 年、野田耕造・小林アツシ、46 分)

第 4 回 2007 年 10 月 17 日(水)19:00~21:00

「安保条約」(1959 年、総評安保映画製作委員会、20 分)

「日本の憲法」(1965 年、菅家陳彦、30 分)

第 5 回 2007 年 11 月 24 日(土)15:00~17:00

「日本の中のベトナム戦争」(1967 年、20 分)

「われわれは監視する — 核基地横須賀」(1975 年、荒井英郎監督、48 分)

会 場 : 伊藤塾東京校(地図は裏面)
資料代 : 各回 500 円 (HuRP 会員・学生・伊藤塾塾生は 300 円)
主 催 : NPO 法人「人権・平和国際情報センター」(HuRP)
後 援 : 法学館憲法研究所
問合せ : NPO 法人「人権・平和国際情報センター」(HuRP)
もしくは
法学館憲法研究所 (03-5489-2153 info@jicl.jp)

平和のためのドキュメンタリー映画の連続上映会です。

アメリカ人が撮影した原爆記録フィルムを多くの国民のカンパで買い戻してつくられた「にんげんをかえせ」は広島・長崎の被曝の惨状を生々しく映し出しました。

「裁かれる自衛隊」は、北海道恵庭町の酪農家が自衛隊法違反に問われ、自衛隊法そのものの違憲性が問われた恵庭事件を追った映像です。

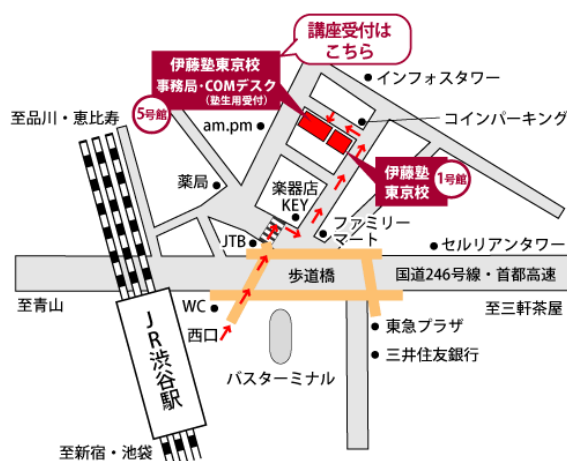
丸木位里・俊子夫妻が描いたヒロシマ原爆被災の姿を映した「原爆の図」も必見の映像です。

1950～60年代の憲法「改正」問題の動向と改憲反対のたたかひの模様を映し出す「日本の憲法」は今日あらためて注目を集める内容となっています。

在日米軍の核装備を監視し続け製作された「われわれは監視する — 核基地横須賀」は、ライプチヒ(東ドイツ)の国際記録・短編映画祭で金鳩賞を受賞した作品です。

いずれの映画も歴史の事実を学び、憲法の平和主義の重要性を考えさせてくれる内容になっています。平和憲法の「改正」が叫ばれる今日、施行60年を迎えた憲法に関わる歴史を知り、考え、語り継ぐ機会にしたいと思います。

上映する映画の多くはビデオやDVDによって観ることはできない、貴重なフィルムです。ぜひお誘いあわせの上、ご来場ください。



【会場】

伊藤塾東京校 5号館内教室 (JR 渋谷駅西口から徒歩3分)

東京都渋谷区桜丘町 17-5 (電話 03-3780-1717)

NPO 法人「人権・平和国際情報センター」(HuRP)

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-7-6 川合ビル 41号室

TEL/FAX 03-3234-3231 E-Mail : hurp@hurp.info URL: <http://www.hurp.info/>